

自然観察活動記録「武田尾」

記録 1班 栗津

実施日 2023年4月21日(金) 天候 晴れ
出席者 21名(1班 6名 2班 7名 3班 8名)
集合場所 JR 武田尾駅 午前10時
観察時間 10:30~13:15
実施内容

朝礼後、いつものように武庫川左岸から観察を開始、右岸へと廻る。
昼食後、桜の園までを往復する。

今回は「武田尾で観られる植物」の一覧表を手に、各自見つけた植物をチェックする方法で観察を行った。植物一覧表には、木本 78 種、草本 73 種を掲載していたが、この時期、新芽・新葉も鮮やかで花々も多く、どちらも半数近くを観察出来た。

「アカメガシワの新芽が赤いのは、葉の表面にある毛が赤く、弱い新芽を太陽から守るため」「ダンコウバイの葉には、ゲーやチョキ、三枚などのいろいろな形がある」「ムラサキシサギゴケは今はムラサキをつけずサギゴケ」等々、違った人からいろいろな話を聞くことが出来、面白かった。

又、ニガキの葉を食べ、苦さを実感(ニガキの名を実感)する。

観察できた植物

アカメガシワ、アブラチャン、イブキシモツケ、ウツギ、オニグルミ、カワラハンノキ、キブシ、キリ、コゴメウツギ、コバノガマズミ、コマユミ、ダンコウバイ、ツクバネウツギ、ニガキ、ヌルデ、ヒメコウゾ、フジ、マルバアオダモ、ミツバアケビ、ミツバウツギ、ヤマブキ、アオカラムシ、オオイヌノフグリ、オニタビラコ、オランダミミナグサ、カタバミ、カラムシ、カワジシャ、キランソウ、コメツブツメクサ、サギゴケ、シャガ、スズメノエンドウ、タチツボスミレ、タネツケバナ、ツメレンゲ、ノゲシ、ノボロギク、ノミノツヅリ、ハコベ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ、ミカエリソウ、ムラサキケマン、ムラサキハナナ、ヤブヘビイチゴ etc.

朝礼



観察風景



集合写真



クサソテツの新芽



ツクバネウツギ



ノジシャ

